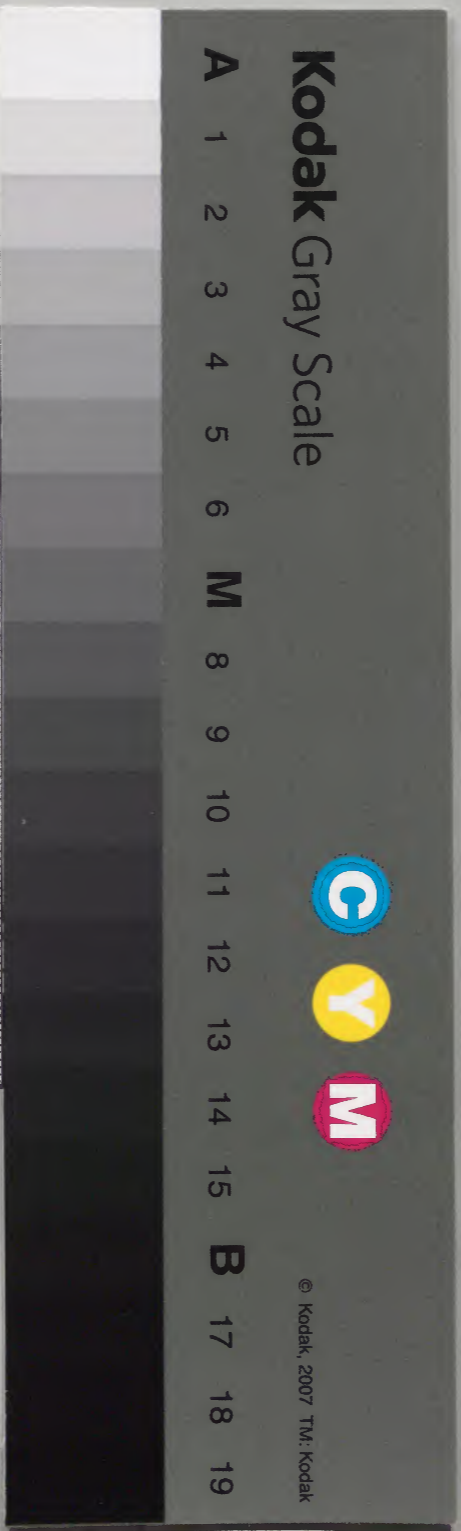


諸國旅雀七

芳野ヨリ高野江之道  
長谷ヨリ芳野伊勢之道  
加州金澤ヨリ諸國江之道  
信州松本ヨリ諸方江之道  
濃州関ヶ原ヨリ尾州  
官テ之道法  
越後越中越前駿州  
甲州ヨリ  
方々江之道法





よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

よりりるるの世に際る

長者のりるるの世に際る

長者のりるるの世に際る

長者のりるるの世に際る

長者のりるるの世に際る

長者のりるるの世に際る

長者のりるるの世に際る



▲中なる大なる方人の堂も白くいん  
合のり九室小塔の塔敷入るなり  
▲古堂宮塔通りノ道は橋升るも  
めい道おとあまわとく川と敷てり

### 初瀬分俣勢へ之道

とせの初めはとくへ一里半

▲橋根様とくへとく半もあ

▲吾輩へ七リ一畝氏まで三リ石中一畝

石のくわとく川流は橋も大なるけ

いよき川にけ他とくか堂あむき

天非堂古川を過るなりぬくといれ

又の梅むらうの公塔を介を築ぬ

▲お雲と文勝▲脇がたもり方らう

橋の古殿代ねとくあやももたつき

二つあめ船非りたあ  
ふとらうの回くらへ三里

▲毛が長若へ半町若くは三町たれ

あたりやあひれたる若中其のけり

たらたわたりゆかたり敷とていせ

けりあひ海は長若幾分切不をれ

かきりて雲坂のとを過へお角が

▲かかしけしひ坂たわたりわご

田のかじりのもまへ二里

▲ひのまのまが赤とく▲坂のま

坂とあおわたり大和の雲唐場とあ

ひりのまのまのま二里

▲坂のまのまのまとく弘法大師の

ふどうの切付もおんひる坂あ

と峰とていせりまごやうたの

たれとていせりまごやうたの

おわたりよりけりけりまごやうた

たのまのまのまのま二里半

たのまのまのまのま二里半



△つらやまのびら小川ぬ橋あり

△坂の橋の跡と云ふ古きと云ふあり

△ふか東の方多き一里半

△若中三川橋あり赤木三本松と

やまの湯と云ふ小川の坂あり

△げがれヶ本二里

△おろり若中八儘まのたきぬきあり

小川あり坂と云坂の跡 二茶やわり

毛の登尾と云ふと云ふありと云ふ

△大井美川跡より赤木あり半赤木あり

れヶ本分大石二里

△ひつ坂と云坂ありヶ本分赤木あり

△大石分わかろ二里

△若中入三越が小川付ありりきあり

お海たの長谷たの橋跡あり

わがらうら田丸一三里

△おろり盤木本田橋あり河の

入は二舟渡あり乃渡と云上りき

中き二葉方小川の帆多きふし

善やの幸田川にありふりあり

△この中入は川田

△田丸分田丸一里

△ひげをたのたふ園のまといあり

△たのりんおれり 赤坂と云川と

△山田 美川を舟と云ふ橋あり

大和郡お方伴勢山田あり

△こりおらから一里半

△坂下ありの十里と云ふ道あり

△長谷七里と云ふ大あり

△からが後へ二里



▲表目大内郡之町▲表目山内一ノ町

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表

▲此山内と云ふ田▲中表











加筋金沢分尾引まをす

金沢分本の事

本乃中より小坂へ二里半

▲近分は作務六右の伴の口を

▲山がまけ川は川の際よぬり敷

い村あたりの方北におり方と云城

▲小坂より國交大坂いとは

小坂分水晶

▲古城をさすこせ川小坂の向に小坂と

あり晶との方やかへ回野田井の口と

といふあり二面村のむけ方といふ

水川と云川を柳川と云水晶を元町と

あり目方園を東へ二里半

▲若川へむける小坂と云はらり

うらら七町

せきごらりる小坂井二里半

信井分人柳へ二里

▲不名なる近分の中仙は

大柳分柳候へ

▲城をいり川をさすより

柳候分森東へ

▲所傳より柳候川を分法とより

法と云いり川を分法と云小方の法

法と云いり川を分法と云

森東分柳候へ二里半

信系分清例へ二里半

清例分がごやへ二里半

▲いりるわきの敷をかくしけ

たなをまを真崎ついで途

いと云は法をいりる川

がごや分東へ二里半

▲大坂回大坂分



加勢金沢石尾法満中へ石

金沢石剣へ 三里半

△ひる村多小川支流と云  
剣石之乃美へ半里町を古城の

三の美石廣津へ半里余

△白おと云古城をたふらんひる小

長と云小川をたふらんひる小

たふらん月下と云相の

廣津石尾美へ廿六町

△たふらん村多志と能為助一歌舟渡を

いると縁橋を能為指と云ひ方の指

凡そ業や三石の若さかへつじの若

石能美石尾美へ廿町余

△たふらん村多志極悪絶境さうり云

福忍石尾美へ三町余

たふらん石尾美へ四町余

石尾美石尾美へ一里

△ひるの山と云細然と云たふらん川向

は別美と云山の麓一核大相陰本相

い候と指信と云れれ代は米田候に先

勝渡候より去美徳山入主と云人と

してせあると云た不彦治和彦能松

相之國防も候と云て石武入石武

云とのまひ城は五三井渡候者城へも

石武入中石武入四町余

△たふらん川向の岸表石尾美へ三里半

と云る石尾美

中石武入石武入三町

△たふらん川の方村をひる石武入

石武入石武入たふらん川陽をひる

向と云者云

石武入石武入十町

石武入石武入

石武入石武入

石武入石武入











つりて故郷もたやると二百里

城の尾をぬきまじり二百里

▲山城とまじりまじりもふ

ぬきまじりかかすけ二百里

▲いかりの山に二百里いより長坂を

かきけりらんてり二百里の若

くんでくろくろつ山一里

かきけりあつき山一里

▲毛ひびり山一里

あつき山一里

▲あつき山の南を抜くころが今も

さんくまのくひ一里

▲てどよりあつき山白飯東海方なる

八川と後

のくひ今も合一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

### 信初志中分記中ノ乃

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

▲あつき山一里

### 信初小法分上取之圖

▲あつき山一里

▲あつき山一里



小法分こまめせ二里

こまめせ分市村一

▲毛分甲分一紙分たり

市村分瀬戸一

瀬戸分とやま一

とやま分下の田二里

▲毛分上の田東にひふせせあり

藪乃人ふれ百粒一

下乃田分東思二里半 下白子分

東思分右思一 二里半

右思分中思一 二里半

信初上田分川流分わたり

上田分思下一 二里 上田分東分七

思下分あり一 二里 思下分下

▲思分一人敷坂と云小坂を考らる

上田分いたと川分

ありと云長久保二里

▲上中下二つあり敷坂ありこれ東之

城の北村兼之

長久保分下流分二里半

下流分上流分二里 城分湖中

信初下流分と仰て甲州

之國へを江戸と云之

下流分上流分二里半

▲毛分和田時と云言六園東分

上流分と云柳一 二里

▲明あり天竺の原へ經射野

流分本雲長坂

青柳分津流分二里半

津流分臺ヶ原分二里半

臺ヶ原分並流分四里

▲毛分甲分川分



逆崎古府中、二里半

▲新府勝乳古城あり

府中古伴込、一里半

▲山際と世府中と云信古城あり

伴込古和泉、一里半

和泉古勝沼、一里

勝沼古鶴沼、一里

鶴沼古思野田、二里半

▲あ方一里田井と云不勝乳古の示

天目山北邊に、約創る故者着

▲藤尾峠、三里半の男坂、毛古龍門

思野田古約物、一里半

▲平野、三里半

初將古花崎、一里半

▲あ方秋山越中長城、小山田古館

花崎古大着、一里半

大着古約物、一里半

▲毛古後河、一里半

約物古さる橋、一里半

猿橋古小丸、一里半

▲岩壁千仞、橋あり

小丸古松乃目、一里半

松乃目の目古の鹿、一里半

の鹿古鶴川、一里半

鶴川古上野原、一里半

上野原古岡野、一里半

岡野古長野、一里半

長野古小佛、一里半

▲小佛古次者着

小佛古約物、一里半

約物古八五、一里半

八五古月野、一里半

月野古府中、一里半







りて死坂おやこ上坂と云坂をちりよ  
▲石坂峠あり池東にふるくせ川を川  
平川をび川に激流合ひぬ川と勿也  
くせ川に揚るると云ふ

飯田分ありか大町に四里半

▲この坂をこの坂峠と云ふ大木湖を

▲中つが湖を云ふこの湖を云ふ

ありか大町分池田へ二里半

池田分ありか大町

▲ふるくせ川を云ふ乃林を云ふ

▲ふるくせ川を云ふ乃林を云ふ

▲ふるくせ川を云ふ乃林を云ふ

▲ふるくせ川を云ふ乃林を云ふ

▲ふるくせ川を云ふ乃林を云ふ

▲ふるくせ川を云ふ乃林を云ふ

ありか大町分池田へ二里半

▲飯田分ありか大町分池田へ二里半

▲飯田分ありか大町分池田へ二里半

▲飯田分ありか大町分池田へ二里半

▲飯田分ありか大町分池田へ二里半

▲飯田分ありか大町分池田へ二里半

ありか大町分池田へ二里半

▲飯田分ありか大町分池田へ二里半

▲飯田分ありか大町分池田へ二里半

▲飯田分ありか大町分池田へ二里半

飯田村より奥初田川へ

村より平林へ 二里半

平林より志川へ 二里七町

志川より中条へ 二町

▲小川より中条へ 二里

中条より加治へ 二里七町

加治よりいさまたへ 二里

いさまたより山の内へ 二里



山門をわたりしより一里

わたりしにがら分れし一里半

一里半と入ける

つらきなわきや一里十町

わたり湯口一里

ゆの口津川へ二里 ひるほどは作

津川をてんま一里

大坂をにげし一里半

ふけやちやら一里半

やらふちやら一里半

おく坂を登る一里半

のちりものこし一里半

乃こしをわたりし一里半

乃こしをわたりし一里半

らんげをわたりし一里半

らんげをわたりし一里半

わたりしをわたりし一里半

わたりしをわたりし一里半

わたりしをわたりし一里半

みよをわたりし一里半

せりしをわたりし一里半

長濱をわたりし一里半

まののりをわたりし一里半

こやをわたりし一里半

井をわたりし一里半

越中津川をわたりし一里半

湯川をわたりし一里半

放生津をわたりし一里半

放生津をわたりし一里半







▲ひるまのり本町の町野 セキ 二里

つゞき かたが 柳 二里

▲もろ 儀流内 ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

がせら 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里

▲ひるま 二里



			二三八二六	和書門
九	二	七〇	號	
冊	架	函		

庫	文	閣	內
七	八	三	八
函			
			和書

內閣文庫	
番號	和 23828
冊數	9 ( 7 )
函號	178 20